



私は、かけがえのない思い出と、たくさんの友達を作ることができました。10日間のアルゼンチン派遣でしたが、私にとっては1年以上に感じられる思い出ができました。中でも私は、日亜学院、ホームステイ、10日間の派遣でできた友達のことを強く印象に残っています。日亜学院では、7年生の教室と一緒に勉強しました。スペイン語はよく分からなかったけど、友達がわかりやすく説明してくれました。ドッジボール、バレーボールをみんなでやったり、絵を描いたりしてすごしました。ホームステイ先では、一緒に公園や海賊船に行ったりして遊びました。派遣でできた11人の友達は、日が過ぎていくにつれて、仲良くなっていきました。元々人見知りだった私には、とても嬉しかったです。アルゼンチンの生活習慣や文化はまだよく分かっていないので、またいつか、アルゼンチンに絶対に行って、くわしく知ってこようと思います。

私の一番印象に残っている事は、日亜学院のみなさんと交流を深めた事です。日亜学院では、5年生と7年生が私達をむかえてくれました。私たちは、2・3人に分かれて、各クラスいき、授業や休み時間、給食などを、日亜学院のみなさんとすごしました。授業は、スペイン語で話しているの、何を言っているのかよく分かりませんでした。体育の授業は、なんとなくルールが分かり、ドッジボールのようなものを行いました。休み時間には、7年生と一緒に教室で映像を見ながら、ダンスを踊ったり、6年生のみんなと屋上に行き、おにごっこや、座ったままのケイドロなどをして、とても楽しかったです。授業終了後に、自分でもってきたおやつを食べたり、給食のおじさんがおやつをもってきて食べていた事にびっくりしました。日亜学院は、みんな優しく、とても楽しい学校でした。また、アルゼンチンに行って、日亜学院にも行きたいです。

私が印象に残っている事は、ホームステイです。アルゼンチンの方と生活することによりアルゼンチンの習慣を知ることができました。その中でも特に驚いたのは、マテ茶というお茶を毎日飲むことです。このお茶は、とても苦いので子どもは砂糖を入れて飲む事が多いそうです。わたしも飲んでみましたが、とても苦く香りの強いお茶で飲むサラダといわれるほど体に良いお茶だと知り、アルゼンチンの方が毎日飲んでいる理由が分かりました。4日目に日本語学校を訪れた時には、折り紙と一緒に折りました。鶴や立体の花など日本の私達より折り紙を上手に折れる人もいました。また日本語学校では、私と同じ5年生が二・三年生の漢字を勉強しているので、ひらがなや、漢字を使った文章を書ける事にも驚きました。ほかにも驚いた事や楽しかった出来事などを多くの人に伝えていきたいです。

私の思い出は、ダンテ学校のことです。学校に着くまで、仲良くできるかなあ、友達は何人かなあと緊張していました。学校に入ると、みんなが迎えに来てくれて、とてもうれしかったです。アルゼンチンの人はみんなフレンドリーで、ダンテ学校の生徒もハイタッチなどをしてくれて、仲良くなることができました。ダンテ学校では、マテ茶やお菓子をいただきました。マテ茶はストローで飲み、すごく熱くてとても苦かったです。アルゼンチンの人は、こんな苦いものを飲んでいるんだなあと思いました。お菓子は、あまい物ばかりで、とてもおいしかったです。次に、ダンテ学校の生徒と私たちが発表をしました。私たちは、さんぽとサンバ・デ・ミ・エスペランサを歌いました。ダンテ学校の生徒は、みんなで歌を歌ってくれたり、盆踊りやダンスを見せてくれました。みんなとても上手でした。友達も出来たので、また行きたいです。

ぼくたちが、アルゼンチンに着いて、最初に向かったのは、茨城県人会の歓迎会です。歓迎会では、エンパナーダやピザ、アルゼンチンのデザートなどたくさんの食べ物を用意してくれていました。昨年行った友達の話も聞いて、ぼくもエンパナーダを食べたいと思っていたのでうれしかったです。給食で出たエンパナーダとは形も味もちがいで、本場のものはばつぐんに美味しくて6個も食べてしまいました。エスコバル日本語学校の生徒も来てくれていました。日本語が話せたので普通に会話が出来てよかったです。天気もよくてエスコバル日本語学校と県人会のみんなと一緒に外でトランポリンやブランコなどを遊びました。お別れの時にサンバ・デ・ミ・エスペランサとさんぽを歌いました。また、アルゼンチンに行きたいです。次は、日本の郷土料理を教えたいと思います。

ぼくたちは、アルゼンチン派遣事業の事前研修会で、メッセージカードづくりや歌の練習、境町の紹介などをしました。研修会が終わった時、いよいよアルゼンチンに行くんだなあ、緊張してしまいました。今までは、長田小学校のアルゼンチンの日の集いで、アルゼンチン大使様を招いて、長田小学校とアルゼンチンの交流について学んできました。アルゼンチンにいけるようになって、とてもうれしい気持ちと、境町の代表として責任を持って、行動しようという思いが強くなりました。アルゼンチンへ行ったら、その国の食べ物を食べたり、文化や生活習慣のこと、アルゼンチンでどんな遊びをするかを知り、長田小学校のみんなに教えたいと思いました。このような経験はなかなかできないので、アルゼンチンでいい思い出を作り、楽しく安全に行こうと思いました。

『アルゼンチンの友達』

長田小6年  
草間 美羽

『日亜学園との交流』

境小6年  
沼尻 彩里

『ホームステイ』

境小5年  
赤澤 星乃叶

『ダンテアリギエーリ学校』

長田小6年  
岡野 千陽

『アルゼンチン茨城県人会』

長田小5年  
豊田 夏徳

『事前研修』

長田小6年  
鹿久保 竜翔

～ 10/23

10/20・21

10/19

10/18・19

10/18

10/17

10/16

10/15

10/14

10/14



日本へ帰国、境町へ到着！



市街観光ショッピング



日亜学院フェスティバル



ホームステイ



日亜学院 歓迎式



ユースオリンピック競技観戦



大使館訪問



ダンテアリギエーリ学校訪問



Rush (遊技場)



茨城県人会歓迎会



境町を出発！飛行機でアルゼンチンへ！



事前研修

『市街観光』

長田小5年  
野村 李夏

『日亜フェスティバル』

森戸小5年  
倉持 大瑛

『ホームステイ』

静小6年  
大賀 陽翔

『大使館訪問』

境小6年  
松沼 海生

『RUSH』  
(トランポリン遊技場)

猿島小5年  
稲垣 翔太

『飛行機でアルゼンチンへ』

長田小5年  
石綿 莉瑚

市街観光では、前日にホームステイ先のファミリーと離れた寂しさも吹き飛ばすくらいたくさんの思い出ができました。1つ目は、カミニートの街です。カミニートの街はとてもきれいで可愛らしかったです。カラフルな見た目がとても印象に残りました。2つ目は、世界で2番目にきれいな本屋さんです。私は、本が大好きなので、ここのたくさんの本をすべて読んでみたいと思いました。3つ目は、世界で2番目にきれいなお墓です。お墓で15歳の女の子の伝説を聞きました。少し怖かったですが、お墓はとてもきれいでなくなった方も幸せかなと思いました。4つ目は、大きなアルゼンチンの旗を見たことです。旗は境町のプールくらいあるのではないかとびっくりするくらい大きかったです。風にゆられてこいのぼりのようでした。市内観光は一生忘れられないすてきな思い出になりました。

一番心に残ったのは、「日亜フェスティバル」です。それは、出発前の日本でも、アルゼンチンに着いてからも練習を頑張ったアルゼンチンの歌「サンバ・デ・ミ・エスペランサ」をアルゼンチンのみなさんの前で発表し、聞いてもらうことが出来たからです。当日、日亜学院の1年生が「英雄」という日本の歌と「アルゴリズム体操」を発表してくれました。「アルゴリズム体操」では、ぼくたちも飛び入りで一緒に踊り、盛り上がりました。ぼくたちの番になり、失敗しないか緊張しましたが、練習の成果を精一杯出し切ることができ、終わった時、アルゼンチンのみなさんがたくさんの拍手をしてくれてとてもうれしかったです。発表の後、折り紙で「鶴」や「手裏剣」の折り方を教えてあげたりして、日亜学院のみなさんと交流を深めることが出来ました。ぼくの人生の中で一番の思い出となりました。

ぼくのアルゼンチンに行った一番の思い出は、ホームステイです。初めは、家族の一員としてやっていけるかどうかとても心配でした。でも、フレンドリーに声をかけてくれて不安な気持ちを解いてくれました。それに、いっしょにカードゲームをしたり、ナイフ・フォークの持ち方や使い方を教えてくれたりしました。とても親切にしてくださいましたので、自分の家のように楽しく安心して過ごすことができました。そんな中で一番に残った事は、みんなでピザを作ったことです。トマトやレタス、ご飯など色々なものをのせてオリジナルのピザを作って食べました。それぞれが工夫したピザを作っていて、とてもおもしろかったです。家に帰ったら同じように作ってみたいと思いました。このホームステイは、アルゼンチン派遣事業の中でも、貴重な経験となり、僕にとって一生の思い出になりました。

ぼくはこのアルゼンチン派遣事業に行っているいろいろな初体験をしてきました。その中でも印象に残っているのは、大使館に行ったことです。大使は大統領と同じくらい偉いとい聞き、とても緊張しました。しかし実際にあってみるととてもおだやかな人で緊張感がとけてたくさん話することができてうれしかったです。大使館では久しぶりに日本のお茶を出してもらいました。やっぱり日本のお茶はとてもおいしくて、全部飲んでしまいました。大使にはアルゼンチンのことを教えてもらったり、いろいろな質問をしたりしました。大使はとても優しくみんな平等に話をすることができてうれしかったです。チャンスがあったら、また大使に会うて色々な話をしたいです。

ぼくのアルゼンチンに行った一番の思い出は、ぼくたち12人と県会の中学生や、高校生といっしょにラッシュというトランポリンの遊園地に行った事です。広い室内に、トランポリンがたくさんあって、とてもおどろきました。いろいろなトランポリンを楽しみ、その中でも、平均台の上でお互いをやわらかい棒でたたたくアトラクションが一番楽しかったです。県会の人とも、勝負をしました。勝てるととてもよかったです。アルゼンチンの学校は、午前中でおわるところが多いそうなので、午後は習い事をしたりこういうことをして遊んでいます。今までに行った事のないアルゼンチンに行けて、たくさんの思い出ができました。また、アルゼンチンに行きたいと思いました。

私は、外国に行くのも飛行機に乗るのも初めてだったので、とても緊張してました。でも、アルゼンチンに行くのが楽しかったもので、ワクワクした気持ちで行きました。日本からアメリカのニューアークまで13時間。途中の待機で5時間、アメリカからアルゼンチンまで11時間。合計29時間かかりました。私は、ふだんメガネをかけて生活していますが、アメリカからアルゼンチンに向かう飛行機でメガネを落としてしまいました。みんなに協力して探してもらいましたが見つからず、機内アナウンスをしてもらいました。それでもメガネは見つからなかったもので、もうあきらめないとダメかなと思ってたとき、外国人男性が見つけてくれました。「グラスアス」と、スペイン語でお礼を言うことができました。長旅でしたが、これからのアルゼンチンでの生活を楽しく思うことができました。